

青嵐

Vol.17

題字：阿南 惟正 理事長筆



公立大学法人

北九州市立大学 学報

THE UNIVERSITY OF KITAKYUSHU INFORMATION SEIRAN

発行日／2009年7月21日 発行元／北九州市立大学広報入試課



▶特集1

タコマ派遣留学 第1期生の報告 **1**

▶特集2

大学院で学ぶ 在校生からのメッセージ **3**

▶特集3

留学生通信 派遣学生からの報告 **4**

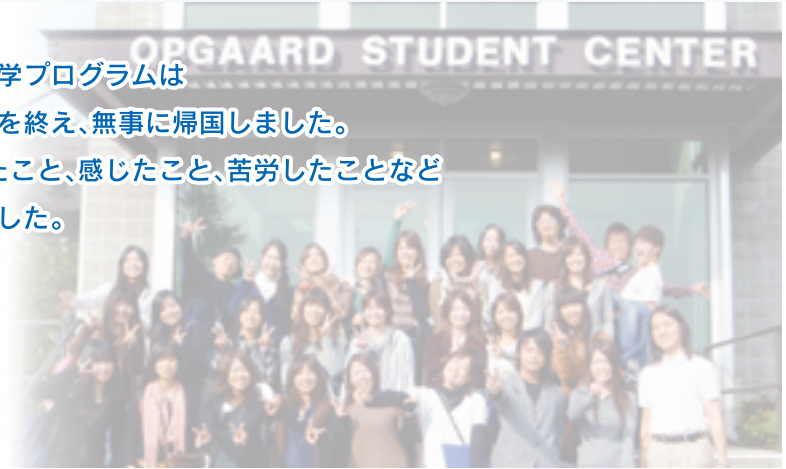
-
- トピックス.....5
 - 連携大学院カーエレクトロニクスコーススタート
 - 地域創生学群スタート！！
 - 「大学コンソーシアム関門」共同授業スタート！
 - 田村慶子先生の宮中晩餐会出席
 - 大學堂1周年
 - お知らせ1.....6
 - 平成21年度4月入学式
 - 公立大学協会長の就任について
 - 特任教授の辞令交付式
 - 国際環境工学部発「環境モデル都市」支援プロジェクト
 - お知らせ2.....7
 - 中期計画の進捗と平成21年度計画
 - 経営基盤の安定性検証格付け審査
 - 平成20年度卒業生の就職状況
 - ゼミ紹介.....8
 - 「ものづくり」ゼミ活動について／国際環境工学部准教授 中武 繁寿
 - 「メディア英語」ゼミ活動について／外国語学部准教授アダム ヘイルズ
 - 部活動紹介.....9
 - ひびきのギターサークル&写真部
 - 経営審議会委員からひと言.....9
 - 石丸 美奈子氏
 - 入試広報レポート/会議開催.....10
 - 教員人事
 - 第16回経営審議会、教育研究審議会
 - 平成22年度入学試験スケジュール



Global Discovery Program

タコマ派遣

昨年10月にスタートしたタコマ派遣留学プログラムは
 第1期生28名の皆さんが半年間の留学を終え、無事に帰国しました。
 そこで、このプログラムを通じて体験したこと、感じたこと、苦労したことなど
 様々な思いをレポートにいただきました。



<タコマ派遣留学とは？>

米国ワシントン州のタコマ・コミュニティカレッジへ半年間派遣留学するプログラム。英語力のスキルアップを中心とした授業の他に異文化理解、英米文学などのアカデミックな授業で構成された北九大学生のための特別プログラムが受講可能。

- 【留学期間】①4月～9月 英米学科3年生15名、
 その他学生15名
 ②10月～3月 英米学科2年生25名
- 【単位読替】可能 最大18単位
- 【滞在形態】ホームステイ
- 【プログラム費用】
 100万円程度
 (奨学補助金制度あり 20年度実績約40万円)



TCCについて

外国語学部英米学科3年 豊島すみれ

タコマ・コミュニティー・カレッジ (TCC) では、私たちの英語力向上を目標としたカリキュラムが準備されていて、ESLの授業とTCCで通常行われている授業を受けました。ESLでは、リーディング・スピーキング・ライティング・リスニングを学びました。そして通常授業では、ネイティブの生徒と共に授業を受け、ディスカッションなどもしました。映画を使ってアメリカの歴史を学ぶ授業と、ネイティブアメリカンについて学ぶ授業がありました。アメリカの歴史を学ぶ授業では、授業外で毎週一つ映画を観なくてはならず、それは図書館を利用して観ることができました。これらの授業でたくさんのプレゼンテーションをし、レポートを書き、ディスカッションをすることにより人前で話す自身がつき、英語を話すことにも慣れました。



留学 第1期生の報告



長期留学ならではの経験

外国語学部英米学科3年 太田 貴道

タコマ派遣留学では、六ヶ月間という長期滞在ゆえに、学校生活以外でも様々な体験をすることができました。長期休暇、祝日等を利用して、友人同士で小旅行を計画し、タコマのあるワシントン州以外のあらゆる場所へ足を運びました。目的地は多岐にわたり、オレゴン、カリフォルニア、ラスベガス、ニューヨーク等のアメリカ国内から、メキシコ、カナダなどの国境を越えた旅を満喫した生徒もいました。もちろん、ホテルの予約や、交通機関等の旅の下調べは、すべて自分たちで行い、相応の英語力が要求されました。州境を超えるとまるで別の国のように規則・習慣が変化するアメリカでは、旅を通して、その多様性に触れ、失敗も経験に変えることで、「本物の、実用的な」英語力を養うことができました。長期留学ならではのかけがえのない体験でした。



ホストファミリー

外国語学部英米学科3年 堤 有加

わたしが滞在していたのは Martin Family で、パパがアメリカ人、ママが台湾人で、10歳と6歳の息子2人という家族構成でした。子どもたちはとても可愛く活発で、普段は家でWiiやUNOやドミノをしたり、庭で近所の子も混ざってサッカーをしたりして遊んでいました。ファミリーは私を本当の家族のようにあつかってくれて、どこへ行くにもいつも一緒でした。家族と過ごす時間が長かったので、その中で英語を学ぶことも多く、またアメリカ、台湾の両方の文化も学べ、本当に良い経験になったと思います。タコマに行き、心から愛する第二の家族と呼べる存在ができて、本当に行ってよかったと思います。これからもこのつながりを大事にしていきたいです。



タコマでのハロウィン、クリスマス

外国語学部英米学科3年 酒井 瞳

私達がタコマで過ごした半年間は、ハロウィンやクリスマスなど行事が多く、本場でそのような行事に参加できたことはとても貴重な経験になりました。TCCでは、行事のたびにパーティーが開かれ、友人やファミリー、スタッフの方々と楽しい時間を過ごしました。ハロウィンパーティーでは、コスチュームを着たり、かぼちゃを彫ったりと、日本ではできないことをたくさん経験しました。クリスマスは、ファミリーと一緒に山に本物のツリーを買いに行き、デコレーションをしたり、ディナーと一緒に作ったり、クリスマスプレゼント交換をしたりと、たくさんの交流がありました。多くの人からの温かい支えのおかげで、このような貴重な思い出ができたことに感謝の気持ちでいっぱいです。



大学院で学ぶ 在校生からのメッセージ

来年度卒業される学生の皆さん 大学院で学んでみませんか！

社会システム研究科



社会システム研究科博士前期課程 文化・言語専攻
宮本 大介

大学院の魅力はなんといっても少人数教育である利点を存分に味わうことができるその内容の濃さです。発言のし易さ、真摯に答えて下さる先生の答えの内容の深さ、少人数だからこそ問われる自分の日々の予習の質等々、個々の講義の充実感は学部の講義とは比較になりません。またもう一つ魅力を挙げるならば、「社会にひらかれた大学院」を標榜する北九大だからこそ味わえる多彩な人間関係とそこから受ける刺激です。僕自身は博士後期課程へ進学予定なので、道を同じくする仲間との切磋琢磨の日々も大きな刺激ですが、就職する人や、今現在社会で活躍されている人たちからも、日々大きな刺激を受けています。魅力あふれる大学院は自分の関心のある分野をより深く学びたい、という人にとって最良の場所です。是非進学を検討してみてください！

法学研究科



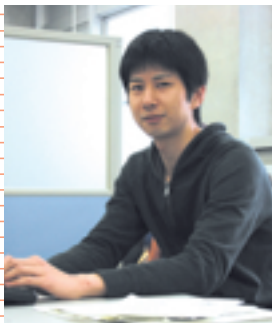
法学研究科法律学専攻2年
山道 麻由子

私は現在、本学法学研究科法律学専攻の2年生です。私は学部生のときのゼミ論で改正教育基本法について学び、より深く「国家と教育」について考えたいという思いから、大学院への進学を決意しました。

現在は憲法の落合教授、植木准教授のご指導のもと、修士論文の作成に取り組んでいます。研究テーマは「教育内容に関する国家的介入の危険性」という未だ漠然としたものですが、先生方の熱心なご指導のおかげで、毎日が大変ではありますが、楽しく勉強しています。

将来は、本学で学んだ知識、培った経験を活かして、教職に就きたいと考えています。皆さんに少しでも「もっと勉学に励みたい」という意欲があるなら、是非大学院へ進むことをお勧めします。

国際環境工学研究科



国際環境工学研究科情報工学専攻 2年
井口 翔

私は現在、自動車の電子制御システムのような時間制約のあるソフトウェアの設計を支援することを目的として研究を行っています。この研究ではソフトウェア開発における幅広い知識が必要であり、その分勉強しなければいけないことが多いので大変ですが、やりがいを感じています。将来は、ソフトウェア開発の上流工程の仕事に関わり、研究で得た知識を活かしたいと考えています。

KABS Kita-Kyushu Business School マネジメント研究科



マネジメント研究科 2年
小野村 頼子

「患者満足」という概念が医業経営の分野にあります。「正しい医療でも顧客たる患者が満足しなければ、よい医療ではない」という考え方です。全く同感です。しかし、そのために小さなクリニックの理事の私に何が出来るのだろう—正解の青い鳥を探し求めてKABSに入りました。

理科系出身の私には、毎日が「？」の連続です。実にさまざまな異業種の息子や娘のような年齢の「学友」たちに励まされながら、勉強というよりはハードなトレーニングのシャワーを心地よく浴びつづけています。



留学生通信

派遣学生からの報告

北九州市立大学から海外の協定校に留学している学生の皆さんはどのような生活を送っているのでしょうか。体験してみないとわからない生の情報を現地から送っていただきました。



大連での留学生活

外国語学部中国学科3年 島田尚和

3月から大連外国語学院で勉強している僕は、様々な面で良い刺激を受けています。

授業は基本的に90分を2コマ、午前中で終わります。午後からは散歩したり、中国人の友達と交流したりとのびのび生活しています。僕は寮の二人部屋で韓国人と住んでいます。外で暮らす学生も少なくありませんが、国際交流ができる絶好のチャンスなので、引き続き寮生活を楽しむ予定です。行事としては、運動会・スピーチコンテスト・意見交換会など他の留学生と交流する機会は多く設けられているのでとても充実しています。大連に留学して早4ヶ月、半期を終えようとしています。まだまだ課題は山積みですが、これからの生活も存分に楽しみ、交換留学生として恥じぬように精進していきたいです。



大連外国語学院

1964年に大連日本語専科学校として創立。1970年に、遼寧外国語専科学校と改名、1978年に現在の校名となる。

大連市の中心部に位置し、交通・買い物には便利。日本語、英語、ロシア語、フランス語、ドイツ語、韓国語、対外中国語など8つの本科専攻がある。外国語教育と対外中国語教育を相互に関連させ、積極的な国際交流や協力が成果が出ている。留学生は、約260名（うち日本人約160名）を受け入れている。

TOPICS

トピックス

連携大学院 カーエレクトロニクスコースがスタート

4月27日(月)に行われた開講式には、北九州市立大を始め九州工業大、早稲田大の大学院生から選抜された第1期生25人が、関係者が見守る中、緊張の面持ちで臨みました。

3大学を代表して、本学の松藤副学長から「安全性、環境、快適性これらのキーワードをいかに車づくりに生かすか、将来の技術革新を担う技術者として期待は大きい。」との激励があり、履修生を代表して、本学の鎌農雅友さんが決意表明を行いました。



地域創生学群スタート!!

本学では、2009年4月に地域創生学群を開設し、114名(募集人員90名)の新入生を迎えました。「地域マネジメントコース」「地域福祉コース」「地域ボランティア養成コース」の3コースを設け、特に『実習(現場)』を通じて、「問題を総合的に理解する力」を養い、地域社会のさまざまな分野で指導的役割を担える人材を養成し、地域創生に向けた公立大学としての使命を果たしていきます。

「大学コンソーシアム関門」 共同授業が8月末よりスタート!

昨年12月に、北九州市・下関市内の6大学で「大学コンソーシアム関門」を設立しました。参加大学は、北九州市立大学・九州共立大学・九州国際大学・西日本工業大学・下関市立大学・梅光学院大学です。この6大学による共同授業が8月末よりスタートします。



【共同授業の開講科目】

	科目名	科目提供大学	開講期間	会場
関門学	関門の自然環境とそのエネルギー	九州共立大学	8月31日(月) ~9月4日(金)	西日本工業大学 小倉キャンパス
	関門地域の文学	梅光学院大学		
	関門地域の産業と経済	下関市立大学	9月7日(月) ~9月11日(金)	
	近代関門地域の産業発展	九州国際大学		
	関門の近代化遺産	九州国際大学	9月14日(月) ~9月18日(金)	しものせき市民活動センター
現代の教養	メディアの現場(NHK、朝日新聞 寄付講座)	北九州市立大学	9月19日(土) ~12月26日(土) 毎週土曜日 のみ開講	西日本工業大学 小倉キャンパス

田村慶子先生の宮中晩餐会出席



田村 慶子 (社会システム研究科教授)

2009年5月11日に天皇皇后両陛下主催のシンガポール大統領歓迎宮中晩餐会に夫とともに招待されました。招待客は約80名、麻生首相から主要閣僚夫妻、緒方貞子(JICA理事長)夫妻などの著名人のなかで、学識経験者は私と拓殖大学教授の岩崎育夫氏だけでした。晩餐会の後に、シンガポール大統領夫妻と両陛下に直接話をするように宮内庁から依頼され、大統領には拙著『シンガポールを知るための62章』をお渡ししてご挨拶をし、両陛下には研究の内容を簡単にお話しました。

なお、宮中晩餐会に招待された学識経験者は、天皇皇后両陛下下のお茶会に後日招待されるのが慣例とのことで、6月3日には皇居でお二人と親しくお話をさせていただき、拙著も差し上げました。また、先日シンガポール大統領からは拙著へのお礼のお手紙をいただきました。とても光栄なことと思っています。10月にはシンガポールと北九州の関係強化の話をするためにシンガポール大使夫人が北九州を訪問されることになっていて、私もお会いする予定です。シンガポールでお世話になった大勢の友人たちへの恩返しとして、何らかのお役に立てればと思っています。

大學堂1周年



旦過市場につくられた町と北九州市立大の縁台、「大學堂」が7月7日に1周年を迎えました。

おかげさまで北九州市の市場で文化や研究の拠点としてユニークな活動を続けている「大學堂」の名は、他地域の商店街や市場、町を拠点に文化芸術活動をしている人々、地域連携をはかりたい大学などの間で、全国的に知られるようになりました。

学生や教員の主体的な活動として事業を継続するのは大変ですが、そんな時、北九大に縁のあるみなさんのご支援がなよりの励みになります。

3月にはこの1年間の成果をまとめた冊子「大學堂と市場劇場」が完成しました(大學堂にて販売中)。10月からは、毎週「大学講座 in 旦過」をスタートさせます。市場で研究発表をしてくださる方を募集しております。

平成21年度4月入学式



4月6日（月）に北方キャンパスの体育館兼講堂において、2009年度入学式が挙行され、新たに1,469名の学生が入学してきました。入学式では阿南惟正理事長から、「夢を持って。その中から新しい自分を発見せよ」、「積極的に意欲を持って知識を吸収せよ」、「良き友人を作れ」という3つの言葉が贈られました。また、矢田俊文学長からは、「一日一日充実した生活を送ることこそが、自らの知識を飛躍的に増やし、人間性を高める近道であります。」と式辞がありました。

若草の萌え立つ春の明るい日差しが照らす中での入学式でした。



特任教授の辞令交付式



辞令を受け取る佐木氏(左)と君原氏(右)

2009年4月に開設した地域創生学群では、メキシコ五輪銀メダリストの君原健二氏、直木賞作家の佐木隆三氏の2名を特任教授に迎え、辞令交付式を行いました。

君原氏は「スポーツ指導論」、佐木氏は「地域学入門」の講義を担当します。

公立大学協会長の就任について

公立大学協会の会長に、矢田学長が就任されました。

今年1月の公立大学協会の会長候補者選考委員会において3名に絞られた上で、加盟大学（75校）による郵便投票にて選出され、5月25日に開催された公立大学協会総会にて新会長就任が決定しました。

公立大学協会の会長としての任期は、平成21年5月から平成23年5月までの2年間です。

国際環境工学部発 「環境モデル都市」支援プロジェクト



本学は、北九州市が取り組む「環境モデル都市」の支援策として、アジアの環境リーダー育成や、有価廃棄物からのレアメタル（希少金属）回収システムの開発など5つのプロジェクトを作成し、5月27日、矢田学長が記者発表を行いました。

これらは、国際環境工学部の研究の中から環境問題解決のために、短期的に実現可能なものを集約したものです。

「環境リーダー育成」は、アジア諸国から大学院に年間10名程度受入れ、環境リーダーとしての人材育成を行うもので、文部科学省から2013年度まで、計2億5千万円の助成を受けます。「レアメタル回収システムの開発」は、小型家電や自動車触媒などの有価廃棄物からプラチナやリチウム、コバルトなどの希少金属を効率よく回収するシステムで、環境省から2011年度まで、計9千万円の助成を受けます。

上記以外に、実用化が進んでいる「北九州型消火システムの開発」や、今後、国や企業などに対して提案し、実施を行っていく「新エネルギーの開拓と従来型エネルギーの効率の利用」、「北九州市立大型200年住宅の開発・普及に関する研究」といったプロジェクトがあります。

中期計画の進捗と平成21年度計画

中期計画の進捗

北九州市立大学は、平成17年度の法人化にあたり、6年間にわたる中期計画を定め、これに基づいて教育、研究の充実や大学の知を活かした社会への積極的な貢献活動などを行っています。中期計画は169の項目からなっており、4年間を経過した平成21年4月1日時点では、全体の61.5%にあたる104項目を完了し、また、36.7%にあたる62項目が一部実施済みなど完了に近い段階にあります。

平成21年度計画

中期計画期間も残り2年となり、平成21年度は、期間中の目標達成に向けて努力するとともに、「教育の質の向上」、「地域貢献」などにさらに力を注いで取り組むこととしました。平成21年度計画で定めた主要な取組は、以下のとおりです。

地域創生学群の開設

平成21年4月に新学部「地域創生学群」を開設します。地域創生学群は、3つの履修コースから成り、4年一貫ゼミ、フィールド型教育(実習・演習)の充実などを特色としています。社会人に対しては、夜間特別枠(40人)、長期履修学生制度などを導入し、学びやすい環境を整えています。

大学コンソーシアム関門による共同授業の実施

「大学コンソーシアム関門」(北九州市・下関市の6大学が参加)による単位互換制度を活用した共同授業を開始します。平成21年度は、共同授業6科目を開講します。

連携大学院カーエレクトロニクスコースの開設

北九州学術研究都市に立地する3大学(九州工業大学、早稲田大学、本学)が連携して「連携大学院カーエレクトロニクスコース」を開設します。同コースは文部科学省補助事業「戦略的大学連携支援事業」に選定されています。

認証評価への取組

法により7年以内に1回受けることが義務付けられている認証評価(第三者による大学の教育研究等に関する評価)に取り組めます。6月に自己評価書を認証評価機関に提出し、書面調査、訪問調査を経て、年度末には評価結果が公表されます。

FD活動の推進

授業公開、新任教員研修、ピアレビューの実施、授業評価報告書の作成等を行うとともに、平成21年3月に設置した「教育開発支援室」の活動を本格化し、より効果的な教育改善を推進します。

上記を含め、教育分野41項目、研究分野23項目、社会貢献分野22項目、組織運営分野24項目、計110項目からなる平成21年度計画を策定し、取り組むことにしました。
詳細は、大学ホームページに掲載しています。
(<http://www.kitakyu-u.ac.jp/outline/kouhyou.html>)

経営基盤の安定性検証の格付け審査

格付け見通しの格上げ

『安定的』⇒『ポジティブ』へ

本学は平成21年3月に経営基盤の安定性等を検証するため、2年ぶり(前回平成18年10月)に、(株)日本格付研究所(JCR)の格付け審査を受けました。その結果、長期格付けは据え置きとなりましたが、その見通しが『安定的』から『ポジティブ』に格上げされました。

公立大学法人 北九州市立大学
長期優先債務格付措置:『AA*1』(ダブルAフラット)
格付けの見通し:『ポジティブ*2』

- *1 長期優先債務格付け:債務者(発行体)の債務全体を包括的に捉え、その債務履行能力を評価したものです。AAAからDまでの10段階評価のうち、AAは上から2番目に位置し、債務履行の可能性は非常に高いことを示しています。
*2 格付けの見通し:長期優先債務格付けが中期的にどの方向に動きえるかを示すもので、「ポジティブ」から「方向性複数」の5つからなります。「ポジティブ」は今後格上げの方向で見直される可能性が高いことを示しています。

平成20年度卒業生の就職状況

平成20年度卒業生の就職決定率(就職者/就職希望者)は93.8%で、19年度(95.5%)をやや下回っています。

各学部の就職状況は下表のとおりです。国際環境工学部は、昨年に引き続き就職希望者全員が就職しています。

昨年秋以降の急激な景気後退の影響が懸念されましたが、企業の採用活動が夏までに一段落していたこともあり、就職状況は19年度に近い水準を維持しています。

しかしながら平成21年度については、企業も求人絞っており、厳しい状況となっています。こうした中、キャリアセンターでは、一人でも多くの学生が希望する進路に進めるように、インターンシップや就職活動ガイダンス、個別進路相談等、これまで以上にきめ細かな就職支援を行っています。

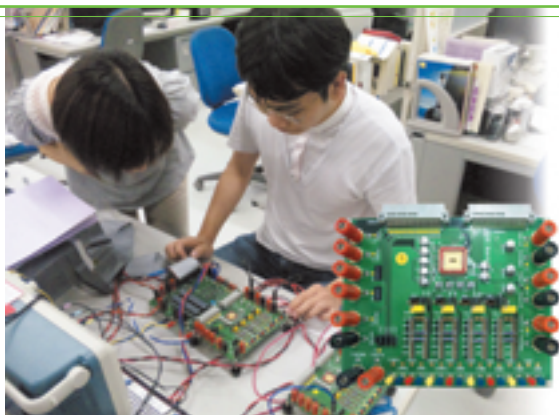
平成21年3月31日現在

	外国語学部	経済学部	文学部	法学部	国際環境工学部	計
就職決定率*	90.1%	96.5%	88.6%	94.9%	100.0%	93.8%

※就職決定率=就職者/就職希望者

ゼミ紹介

Seminar Introduction



「ものづくり」 ゼミ活動について

国際環境工学部 情報メディア工学科
准教授 中武 繁寿

2001年に国際環境工学部が開設し、2004年に第1期生が研究室に所属し、いわゆるゼミ活動をするようになり5年が経ちました。私の研究室では、大規模集積回路設計(VLSI)、及び自動設計システム(CAD)に関する研究をしています。2004年以前からも研究自体は行っていましたが、学生たちと一緒にするゼミ活動はまさに「ものづくり」を強く意識させるものです。第1期生が研究室に所属した頃、実際のVLSIを設計できる環境や技術はありませんでした。そこで、学生たちと一緒に学びながらCADをインストールしたり、企業向けの設計セミナーに参加したり、産学連携プロジェクトの予算を申請して設計データを委託開発したりして、ようやく第1期生が大学院博士前期課程を修了する頃に、実際のVLSI設計ができる環境が整いました。第2期生のときには、その環境で実際のVLSIを試作し、第3期生でその測定、解析を行うところまで来ました。私は今年で不惑を迎えますが、研究室はまだまだ成長期です。

◆教員プロフィール



中武 繁寿
(なかたけ しげとし)

1969年9月1日宮崎県生まれ。1988年3月、宮崎県立高等学校卒業。同年4月東京工業大学第5類入学。1992年3月、同大学工学部電気電子工学科卒業。同年4月北陸先端科学技術大学院大学情報科学研究科入学(第1期生)。1994年3月、同大学院大学 修士(情報科学)取得。1999年1月、東京工業大学 博士(工学)取得。1996年4月～1999年3月、東京工業大学工学部電気電子工学科助手。1999年4月～現在、北九州市立大学国際環境工学部(1999～2000年は設置準備室)。現在、情報メディア工学科准教授。専門は、集積回路工学、大規模集積回路設計技術。最近の研究活動では文部科学省知的クラスター創成事業(第I期、第II期)を中心とした産官学連携プロジェクトを推進。



「メディア英語」 ゼミ活動について

外国語学部 英米学科
准教授 アダム ヘイルズ

今も昔もメディアと事実の関係を理解することは大変大事だと考えられます。

私のゼミではイギリスのメディア、文化を分析し、社会、政治にどう影響するかを判断します。現代のメディア、それ以前のメディアについて研究しますと現代と過去の対照が見え、考えとディスカッションの幅が広がります。現代のメディアと言えばテレビ、インターネット、映画、雑誌等をさしますが、それ以前では、演劇、小説、詩、民話等をマスコミュニケーションの手段にしていた。このゼミでは学生が現代のメディアか歴史的メディアかを選択し研究、発表、ディスカッションし論文を提出します。

最近学生が考えた研究テーマの一部をあげますと、テレビコマーシャルとジェンダ、メディアの政治的統制、報道番組で使われる言語、映画の理解法、など現代のメディアについて、ルネッサンスマスメディア、文化的コメンテーターとしてのシェイクスピア、ディキンズの視点からのイギリス、第二次世界大戦下イギリス政府が使ったプロパガンダ、など歴史的メディアについてのテーマがあります。

授業はすべて英語で行います。メディアリテラシースキルの上達と同時に英語コミュニケーションスキルの上達も目指します。学生の研究発表後はディスカッションを行います。よく喋り、よく笑い、よく考え、と明るい雰囲気の授業になっています。

◆教員プロフィール



アダム ヘイルズ
(Adam Hailes)

1971年英国生まれ。1993年英国ウォーリック大学卒業。1996年シェイクスピア研究所にて修士課程修了。帝京大学ダラム校講師を経て、1999年より本校に勤める。

部活動紹介

文化系サークル

ひびきのギターサークル

写真部



「ひびきのギターサークル」は今年で発足して7年目になります。発足した当時は数人しかいませんでしたが、現在は院生を含め80人を超える大きなサークルとなりました。毎日部室には多くの学生が集まり、ギターを弾いたり話をしたりと楽しい時間を過ごしています。

活動も以前より盛んになり、学内での毎月の定期演奏会に加え、小倉のスターボックスで2ヶ月に1、2回演奏させて頂くようになりました。サークル内成人式や追い出しライブ、学祭での演奏なども毎年恒例の行事です。また、市民センター主催の地域の音楽祭にも毎年参加させて頂いています。

音楽以外では、春は花見、夏はキャンプ、冬はスキーなど、幅広く学生生活をエンジョイしています。

今後も様々な音楽イベントへの参加や、他大学との交流など、活動の範囲を広げていこうと考えていますので、もし興味を持っていたら是非一度見にきてください。



“Photo is...”写真って何だろう。



私たちは、それぞれにとっての“Photo is...”を探しながら、各々が自由に写真を撮り、年間約5回の写真展の場で作品を発表しています。今年は8/26～9/1にかけてリバーウォーク北九州5F市民ギャラリーにて、九州歯科大学・九州工業大学の写真部と合同写真展を行います。興味のある方は是非観に来てください。



経営審議会委員からひと言

● 街全体がキャンパスである。

イメージショップ主宰 コピーライター 石丸 美奈子 ●



在学中('82外国語学部卒)から、不満だったのは、キャンパスの狭さ(しかも、美しくないしね)。ああ、隣の競馬場や自衛隊の敷地が、全部、本学のモノだったら、と何度思ったことか。で、途中から発想を転換した。よし、「北九」大なんだし、この街全体をキャンパスと見なそう。デパートも美術館も映画館も盛り場も港も工場も山も……。大学の授業だけじゃなく、街を学び場に4年間を過ごしました。その経験が、今に繋がっている。学生にとって、どの大学で学ぶかと同じくらい大事なのが、どの街で学ぶか、ということだと思ふ。本学のカリキュラムと教授陣は、かなりイケてる。実は、街も相当面白い、です。人生のなかで、宝物のような時期。存分に遊び、学んで欲しい。太志を抱け。ピース。

教 員 人 事

副学長

(平成21年4月1日付)

近藤倫明 (地域貢献、国際交流、評価担当)
 松藤泰典 (産学連携、ひびきのキャンパス担当)
 中野博文 (教育、研究担当)

学部長等

(平成21年4月1日付)

外国語学部長	伊藤 健一
経済学部長	白石 和孝
文学部長	松尾 太加志
法学部長	山本 光英
地域創生学群長	伊野 憲治
国際環境工学部長	梶原 昭博
大学院社会システム研究科長	横山 宏章
大学院国際環境工学研究科長(兼務)	(梶原 昭博)
大学院マネジメント研究科長	齋藤 貞之
学生部長	田部井世志子
教務部長	二宮 正人
都市政策研究所長	晴山 英夫
国際教育交流センター長	木原 謙一
学術情報総合センター長	田村 慶子
基盤教育センター長	漆原 朗子
入試広報センター長	田村 大樹
キャリアセンター長(兼務)	(晴山 英夫)
地域貢献室長(副学長兼務)	(松藤 泰典)
評価室長(副学長兼務)	(近藤 倫明)
アジア文化社会研究センター長(兼務)	(横山 宏章)

退職

(平成21年3月31日付)

外国語学部	田吹 長彦
基盤教育センター	神崎 尚士、武藤 直彦、棚次 奎介
大学院社会システム研究科	谷村 秀彦
国際環境工学部	平山 義則、吉原 久仁夫
	相楽 典泰、小野 信輔
経済学部	宮城 和宏

採用

(平成21年4月1日付)

○教授	基盤教育センター	中尾 泰士
	国際環境工学部	吉山 定見
○准教授	外国語学部	金網 初美、篠崎 香織
	経済学部	松本 守
	国際環境工学部	井上 浩一
	基盤教育センター	佐藤 貴之、内田 若希
		深谷 裕、中岡 深雪
	キャリアセンター	見館 好隆
○講師	国際環境工学部	葛 隆生
	基盤教育センター	ロジャー・J・A・ブライア
○助教	基盤教育センター	石田 俊一

会 議 開 催

● 第16回 経営審議会 ●

平成21年6月19日(金)北九州市立大学本館にて開催されました。

議案

- | | |
|----------------------------|----------------------------|
| ①平成20年度計画に係る自己点検・評価報告書について | ②平成20年度財務諸表、決算報告及び事業報告について |
| ③管理職手当の見直しについて | ④認証評価自己評価書について |

● 教育研究審議会 ●

第95回 平成21年3月17日(火)

〔議案〕

- ①特任教員等の選考について
- ②平成21年度各種委員会委員等の構成について
- ③学生会申入れ回答、外国語学部自治会申入れ回答について
- ④研究科規程等の改正について
- ⑤昇任選考委員会による選考結果の審議について

第96回 平成21年4月14日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②奨学金返還免除候補者の選考について
- ③社会システム研究科規程の改正について

第97回 平成21年4月28日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②再任審査委員会の設置について

第98回 平成21年5月12日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②平成20年度計画に係る自己点検・評価について

第99回 平成21年5月26日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②ボランティアセンター設置準備委員会の設置について
- ③認証評価について

第100回 平成21年6月9日(火)

〔議案〕

- ①平成20年度計画に係る自己点検・評価について
- ②認証評価について

第101回 平成21年6月23日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②特任研究員等の選考について
- ③名誉教授授与規程に関する了解事項について
- ④名誉教授の称号授与について
- ⑤第2期中期計画検討プロジェクトについて

第102回 平成21年7月7日(火)

〔議案〕

- ①教員の採用について
- ②特任研究員の選考について
- ③教員の再任審査について
- ④第2期中期計画検討プロジェクト修正案について

入 試 情 報

北九州市立大学 平成22年度(2010年度)入学試験スケジュール

■平成21年

選抜名称	出願期間	試験日	合格発表
AO入試 (地域創生学群のみ)	9/7(月)~9/11(金)	1次選考 10/ 4(日) 2次選考 10/25(日)	11/2(月)
推薦入学 社会人特別選抜 (法・地域・工のみ)	11/2(月)~11/6(金)	11/22(日)	12/8(火)

■平成22年

選抜名称	出願期間	試験日	合格発表
一般選抜	1/25(月)~2/3(水)	経・文・工	2/25(木)
		外・法・地域	2/26(金)
		外・経・文・法・工	3/12(金)
			3/20(土)

※大学入試センター試験は1/16(土)、1/17(日)(予備日は1/23(土)、1/24(日))に行われます。

北九州の名物

食べ物編

意外と知られてない、北九州の名物をご紹介します！

特に新入生のみなさんは北九州での新しい生活を満喫するためにも、是非是非ご賞味ください♪
そして、他の町に住んでる家族や友だちに教えてあげよう(^o^)/



門司港
発祥!

焼カレー

カレーライスにチーズをのせ、オープンで焼いた「焼カレー」は、昭和30年頃、門司港にあった喫茶店が発祥とされています。



小倉
発祥!

焼うどん

小倉が誇る名物「焼うどん」は、終戦直後の食糧難でそば玉が入りにくく、うどんを代用したのが起源。モチモチとした食感と共に懐かしさを感じる味が親しまれています。



北九州
発祥!

鉄鍋餃子

北九州発祥で、福岡にもっていったところ、ブレイクしたと言われています。小ぶりでお手軽で、パリッとした歯ごたえが何ともたまりません！



合馬の たけのこ

京都の有名料亭の料理にも出されている高級筍です。特に、最高級品と言われる白子筍は豊かな風味と軟らかい筍として関西や関東までも出荷されています。

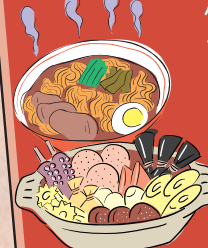


小倉牛

小倉南区の雄大な自然の中で丹念に育てられる黒毛和牛「小倉牛」。この貴重な小倉牛は、「小倉牛指定店」でしか味わうことができない一級品です！



小倉の屋台へ行ってみよう!



小倉の屋台は、アルコールを置いてないので、安心して食べれますよ。しかもおはぎがメニューに置いてあります。お子さんからお年寄りまで屋台を楽しめるスポットなのです。



門司港へ行ったらコレ! バナナの叩き売り

ハリセンなどで台を叩きながら独特の口上を延べてバナナを売る、一風変わった光景が、休日の門司港で行われています。口上を聞いているだけでも楽しいよ!



お土産物編



つuitatchya



北九州はいろんなロールケーキが売り出されています。「つuitatchya」は、北九州空港でのみ販売されています。



足立ロール

おそらく小倉で一番有名なお店の「ル・ノール」で販売されているロールケーキです。しっとりとしたスポンジとさわやかな口当たりの生クリームが最高に美味しい!

- ◎出張講義、大学見学のご要望は随時受け付けています。お気軽にお尋ねください。
 - ◎学報に関する皆様からのご意見をお寄せください。
- お問い合わせは、大学広報入試課 (Tel.093-964-4196) へお願いします。

